



Mercedes-Benz

Press Information

2020年6月25日

全てを備えた本格 SUV

「GLB」を発表

- ・ 国内ブランド最多となるメルセデス・ベンツのSUVに9車種目となる新型を投入
- ・ 本格オフローダー譲りのスクエアなエクステリアデザインと高い悪路走破性
- ・ 取り回しのよいサイズでありながら、広い室内空間に7人乗車を実現
- ・ メルセデス・ベンツの対話型インフォテインメントシステム「MBUX」を搭載
- ・ Sクラスと同等の最新の安全運転支援システムを採用

メルセデス・ベンツ日本株式会社(社長:上野金太郎、本社:東京都品川区)は、全く新しいSUVラインアップとなる「GLB」を発表し、全国のメルセデス・ベンツ正規販売店ネットワークを通じて本日より予約注文の受付を開始します。なお、お客様への納車は本年7月頃を予定しております。

GLBは、世界で持続的な成長を遂げるSUV市場において、すでに多くのラインアップを持つメルセデス・ベンツが、さらに多様なお客様のニーズに応えるべく投入する、全く新しいモデルです。究極のオフローダーであるGクラスからインスピレーションを受けた、スクエアなエクステリアデザインと高い悪路走破性を持つ本格的なSUVでありながら、広い室内空間に7人乗車を標準とし、かつ日本の都市部でも取り回しのよいボディサイズを実現した「全てを備えた本格SUV」です。

デザイン

GLBのスクエアでパワフル、かつシンプルなデザインは、メルセデス・ベンツの本格的なSUVであることを明確に示しています。

フロントはクローム仕上げで力強いデザインのアンダーガードと2本のパワードームを備えたボンネットがSUVとしての存在感とパワーを表現しています。大型のラジエーターグリル内には、メルセデス・ベンツのSUVに共通する特徴的なツインルーバーデザインが施され、スクエアなデザインのヘッドライトと共にSUVらしさを強調します。AMGライン^{*1}を選択した場合、ダイヤモンドグリルとシングルルーバー、バンパー下部左右に配置された2本のフィンなど、スポーティさを強調するデザインとなります。

*1: GLB 200 dにオプション設定。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。

サイドビューで特徴的な点は、エッジやラインを減らしつつ、前後ドアパネルやリアフェンダーなどの面の張りで力強さを表現している点です。フロントエンドとリアエンドがほぼ垂直に切り立ったスクエアなデザインとなっていることや、フロントからリアにかけてボディの下部を飛び石などから守るプロテクターが装備されていることも本格的なSUVであることを表現する要素となっています。

リアには上下方向に細く、横に長い、2分割型リアコンビネーションランプが採用されており、ボディのワイドさを強調するデザインとなっています。

インテリアはモダンでアバンギャルドにまとめられています。ダッシュボードは通常インストルメントクラスター上方にあるカウルを採用せず、ワイドスクリーンディスプレイが、そのダッシュボードの上部に置かれることで、解放感があり、横方向のワイドさを強調するデザインとなっています。

5つの円形のエアアウトレットは、ジェットエンジンのタービンを想わせるスポーティなデザインを採用しています。エアアウトレットの奥の部分に色のアクセントを施すことで、アフターバーナーを想起させます。アンビエントライト^{*2}は全64色と、先代モデルの5倍に拡大しました。また、64色を10種類の色彩の世界にまとめることで、鮮やかな色の変化を伴うライティングを実現します。

^{*2}: GLB 200 dにはAMGラインもしくはレザーエクスクルーシブパッケージ選択時に装着されます。

GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備されます。

GLBでは、助手席ダッシュボード中央部やセンターコンソールのスイッチの両端部などに、力強さを表現するアルミニウム調チューブデザインを採用しました。また、標準仕様のシートバック中央部には特徴的な左右から斜めに走るステッチがひし形状の模様を作り出すシート^{*3}を採用し、力強さだけでなく、ラグジュアリーさも表現しています。

^{*3}: GLB 200 dに採用。AMGラインもしくはレザーエクスクルーシブパッケージを選択した際には、デザインが異なります。GLB 250 4MATIC スポーツには採用されません。

四輪駆動4MATIC

GLB 250 4MATIC スポーツに採用される四輪駆動システム、4MATICはドライバーがダイナミックセレクトのスイッチを操作することで、基本の前後トルク配分比を変化させることが可能となっています。四輪駆動クラッチを制御する特性マップは3つあります。一般的な走行状況における基本的な前後トルク配分比は、ドライブモード「ECO/コンフォート」で80:20、「スポーツ」では70:30となります。一方、オフロード走行では、四輪駆動クラッチがセンターディファレンシャルロックのように働き、基本トルク配分は均等に50:50となります。どのモードにおいても路面状況に応じて連続的にトルク配分比を変化させることで、常に最適な駆動力の伝達を可能にし、オンロードでの安定性や効率性とオフロードでの走破性を高次元で両立しています。また、センターコンソールにあるダイナミックセレクトのスイッチで「オフロード」を選択すると、トルク配分やABSのマネジメントにより、悪路走破性を高めます。また、マルチビームLEDヘッドライトが車両の直前部を広く明るく照らすモードとなり、障害物が発見しやすくなります^{*4}。さらに、急なオフロードの下り坂を2km/hから18km/hの間で事前に設定した一定の速度で降りることができるDSR(ダウンヒルスピードレギュレーション)も装備されています。

^{*4}: 50km/hまでで作動。GLB 200 dでAMGライン選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。

ユーティリティ

GLBはスクエアで車高が高く、かつ2,829mm^{*5}と長いホイールベースを活かして、乗員が快適にくつろぐことができる、広い室内空間を実現しています。

2列目シートは、140mm調整が可能な60:40分割の前後スライド機構^{*6}を備えており、後ろにスライドさせて乗員に広く快適なレッグスペースを提供したり、前にスライドさせて積載性を向上したりすることが可能です。また、バックレストの角度は8段階の調整^{*6}が可能で、快適性の向上に貢献します。

^{*5}: 欧州参考値

^{*6}: 前後スライドは60:40分割スライド、バックレストは40:20:40の分割可倒式となります。

3列目シート*7は、2列目シートのバックレストにあるロック解除レバーを操作することで、2列目シートが前に倒れてスライドし、ワンタッチで乗り降りすることが可能となります。また、3列目シートを使用しない場合は、格納することが可能です。

2列目シートと3列目シートにはISOFIX対応固定装置およびトップテザーアンカー(固定ポイント)により最大4つのチャイルドセーフティシートを取り付けることができます。全席の高さ調整式ヘッドレストや、2列目中央を除く全6席にシートベルトテンショナー&ベルトフォースリミッター付シートベルト、3列目シートにも対応したSRSウインドウバッグを備えるなど、安全装備も充実しています。

フロントのセンターコンソールやフロントセンターアームレスト内にUSB Type-Cポートを備えており、モバイル端末を充電することができるだけでなく、モバイル端末内に保存されている、お気に入りの曲を楽しむことができます。2列目、3列目にはモバイル端末充電用のUSB Type-Cポートが2つずつ装備されています。

ラゲッジルームは、高い車高や多彩なシートパターンにより、十分な積載性を確保しているだけでなく、日常的な利便性も考慮されています。左右のラゲッジルームトリムに小物入れを設けたほか、テールゲート下部にコート用フック2個、2段階高さ調整式ラゲッジルームフロアなどを備えています。また、バッグ用フックも左右に設けており、使い勝手を追求しています。また、足をリアバンパー下部に差し入れるだけで開閉したり、リモコンキーやテールゲートのボタンを押すことで開閉することができる「EASY-PACK自動開閉式テールゲート」を標準採用しており、テールゲート開閉時の利便性も向上しています。

GLBは最低地上高が約200mmと通常の乗用車より高くなっており、悪路走破性だけでなく、街中でのちょっとした段差などにも気を遣わず運転することができ、安心してドライブを楽しむことができます。

*7: 安全上の理由から対応身長が左右とも168cm以下となっています。

MBUX(メルセデス・ベンツ ユーザー エクスペリエンス)とワイヤレスチャージング機能

GLBは、対話型インフォテインメントシステムMBUX(メルセデス・ベンツ ユーザーエクスペリエンス)を搭載しています。その最大の特長の1つが、人工知能による学習機能で、特定のユーザーに適應する個別対応能力を備えています。そのため、クルマ、ドライバー、乗員の間に心の結びつきが育まれます。

その他のメリットとしては、高精細ワイドスクリーン コックピット(10.25インチワイドディスプレイでタッチスクリーン操作対応)や、自然対話式音声認識機能を備えたボイスコントロールなどがあります。ボイスコントロールは「Hi, Mercedes」をキーワードとして起動します。

新型自然対話式音声認識機能は多くのインフォテインメント機能(目的地入力、電話通話、音楽選択、メッセージ入力・読み上げ、気象情報)に加え、クライメートコントロール、各種ヒーター、照明など多様な便利機能にも対応しています。

MBUXの音声認識機能は、自然言語認識機能の搭載により、インフォテインメントおよび車両操作関連の自然な言語を認識、理解できます。例えば、クライメートコントロールで温度を下げる場合、「温度24度」という明確な指示ではなくても、「暑い」と言えば理解します。

また、学習能力も備えています。クラウド上のソフトウェアモデルによって新しい流行語を覚えたり、時代による言葉の用法の変化を学習したりします。

ユーザーに合わせて適應することも可能で、例えば、定期的に決まった電話番号へ電話をするユーザーに対しては、その時刻になるとディスプレイに相手の電話番号を

「おすすめ」として表示します。また、決まった時刻にラジオを放送局に切り替える方には、この切り替えを提案します。

MBUXの音声認識機能は、ユーザーによる発言を車載コンピューターとクラウドの両方でデータを評価し、それぞれ応答を送ります。システムはどちらの応答がより確かな情報かを判断し、数秒以内に反応します。このようなハイブリッド方式とした結果、MBUXは、インターネットに接続しない状態でも応答できるシステムとなっています。

また、スマートフォンのコネクティビティ関連機能も拡張されました。Qi規格対応機種携帯電話を無線充電する「ワイヤレスチャージング機能」を前席に全車標準装備しています。

インテリジェントドライブ

メルセデス・ベンツの自動運転開発の次のステップとなる技術は、一般道での安全運転支援はもちろんのこと、特に高速道路での、運転支援機能によりドライバーにかかる負担を大きく軽減するシステムです。

GLBはSクラスと同等のシステムを採用しています。歩行者や車両の飛び出しを検知した場合や先行車両や障害物を回避できない場合の自動緊急ブレーキによる被害軽減機能、車線維持機能、斜め後ろの死角の車両との衝突回避を支援する機能などが備わっています。また、先行車との車間距離のみならず周囲の交通状況（車両、車線、ガードレールなど平行な物体）を常に監視しています。GLBにはステアリングアシストも採用しました。また、システム起動時に高速道路上で自動停止した場合、30秒以内（一般道は3秒以内）であれば自動再発進^{*8}が可能となり、渋滞時のドライバーの疲労を大幅に低減します。その他の革新技术、「アクティブレーンチェンジングアシスト」^{*8}は、ドライバーがウインカーを点滅させた場合、行き先の車線に車両がないことを確認して、自動で車線を変更します^{*9}。さらに、走行中にドライバーが気を失うなど万が一の場合には、自動的に車線を維持しながら緩やかに減速・停止する「アクティブエマージェンシーストップアシスト」^{*8}も採用しました。

メルセデス・ベンツの安全運転支援システムは、ステアリング、ブレーキ、加速などの作動が自然なのが特徴で、機械的なぎこちなさが排除されています。

*8: GLB 200 dでナビゲーションパッケージ選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。

*9: 高速道路を約80km/h~180km/hで走行中アクティブステアリングアシスト作動時に起動します。

テレマティクスサービス「Mercedes me connect」

自動車通信することによりお客様の利便性を向上する先進的なテレマティクスサービス「Mercedes me connect」は、「24時間緊急通報サービス」などを最長10年間無償でご提供する「安心安全サービス」、「Send2Car」などを3年間無償でご提供する「快適サービス」の2つのサービスカテゴリーから構成されます。

「安心安全サービス」

- 24時間緊急通報サービス: 事故検知時(エアバッグ、シートベルトテンショナー展開時)または車内にあるSOSボタン押下時に、コールセンターが消防に連絡します。
- 24時間故障通報サービス: ツーリングサポートが必要な際に、meボタンを押すとツーリングサポートセンターにつながります。

「快適サービス」

- リモートドアロック&アンロック: スマートフォンの操作で車両ドアのロック、アンロックができます。

- リモート(車両)ステータス確認: 車両の走行距離、燃料計、平均燃費等の状態をアプリ等で確認できます。
- 駐車位置検索: 駐車した車両の位置をアプリの地図上に表示します。
- Send2Car: スマートフォンから、ナビゲーションの目的地を遠隔設定できます。

また、オプション設定のナビゲーションパッケージを装着すると、Mercedes me connectのナビゲーションサービス(天気やガソリン価格情報を地図上に表示)や、USBオンデマンド地図更新をご利用頂けます。

パワートレイン

「GLB 200 d」に搭載される「OM654q」は、2.0リッター直列4気筒クリーンディーゼルターボエンジンで、最高出力150PS(110kW)、最大トルク320N・mと、コンパクトなボディを力強く加速させる性能を有しながら、低振動で高い静粛性を両立させています。

シリンダーピッチを90mm、シリンダー間の厚みを8mmとして、全長をコンパクトにまとめたシリンダーブロックは軽量化のためにアルミニウム製となっている一方、ピストンはスチール製となります。この熱膨張率の異なる素材を採用することで40%以上摩擦を低減しています。また、シリンダーウォールにスチールカーボン材を溶射コーティングするNANOSLIDE®摩擦低減加工を施しています。

ターボチャージャーは可変タービンジオメトリーを採用しており、低回転域から高回転域まで全域でトルクフルな加速を可能にしています。

ピエゾインジェクターを使用した、コモンレールダイレクトインジェクションシステムは最大圧力2,050barまで高められています。また、冷却された高圧EGRと低圧EGRを組み合わせた「マルチウェイ排出ガス再循環(EGR)」を搭載しており、燃焼の最適化を図り、後処理を行う前の段階で窒素酸化物を低減することが可能になりました。

排出ガスの浄化システムはエンジンに近接し搭載されたことで、排出ガスの温度低下による浄化効率の低下を防ぐことを可能にしています。ターボチャージャーから出た排出ガスは、まず酸化触媒へ送られた後、AdBlue®が添加されます。下流のsDPF(DPF with SCR Coating: 選択触媒還元法コーティング付粒子状物質除去フィルター)で粒子状物質の捕集と窒素酸化物の低減を行った後、SCR触媒でさらに窒素酸化物の処理を行います。その後、新しく追加されたSCR触媒でさらに窒素酸化物の低減を行うと同時に、余剰のアンモニアを処理するアンモニアスリップ触媒(ASC)を備えることで、運転状況が急激に変化した場合にもアンモニアが外気中に放出されることを防ぐことが可能となりました。その結果、常に十分な量のAdBlue®を噴霧することが可能となり、窒素酸化物の処理能力を高めることに成功しており、日本市場で販売される乗用車では他に類を見ない排出ガス処理システムとなっています。

「GLB 250 4MATIC スポーツ」に搭載される2.0リッター直列4気筒ターボエンジン「M260」は、最高出力が224PS(165kW)、最大トルク350N・mを発生します。エンジンブロックはアルミニウムダイカスト製で鋳鉄製シリンダーライナーを備えており、エンジン内部の摩擦低減対策として、メルセデス・ベンツが特許を取得した、「CONICSHAPE®加工」を採用しています。これは、シリンダーウォールをフォームホーニング加工する際に、シリンダーウォールを底部に向けてやや広がる形とすることで、ピストンスカート部に発生する摩擦を低減する技術です。また、可変バルブタイミングを実現する「カムトロニック」も搭載されており、状況に応じた最適な吸気を実現しています。

どちらのエンジンも、組み合わされるトランスミッションは新開発の8速デュアルクラッチトランスミッション「8G-DCT」となり、様々な状況で最適なギアを選択することで、環境性能や動力性能に貢献します。

ラインアップ

メーカー希望小売価格は以下の通りです。

モデル	ステアリング	エンジン	メーカー希望小売価格*10 ()内は消費税抜き車両本体価格
GLB 200 d	右	2.0L、直4 ディーゼルトーボ	¥5,120,000 (¥4,654,546)
GLB 250 4MATIC スポーツ	右	2.0L、直4 直噴ターボ	¥6,960,000 (¥6,327,273)

*10: 上記のメーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。販売店が価格は独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。

なお、GLB各モデルには、新車購入から3年間、一般保証修理/定期メンテナンス(点検整備の作業工賃・交換部品)/24時間ツーリングサポート/地図データ更新が無償で提供される走行距離無制限の保証プログラム「メルセデス・ケア」が適用されます。

また、メルセデス・ケア期間中には、ご希望のモデルを3回無料でご利用いただける週末貸出サービス「シェアカー・プラス」もご利用頂くことが可能です。

メルセデス・ケア終了後も引き続き2年間、一般保証、定期メンテナンスや24時間ツーリングサポートをご利用いただける有償のサービスプログラム「メンテナンス&保証プラス*11」をご用意しています。

*11: メンテナンスサービスは総走行距離 75,000km までで終了となります。



メルセデス・ベンツ GLB 200 d



メルセデス・ベンツ GLB 250 4MATIC スポーツ

GLBIに標準装備される安全運転支援システムの詳細説明

「インテリジェントドライブ」

飛躍的に進化した「レーダーセーフティパッケージ」

高度化されたステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーの働きにより周囲の交通状況をよりの確に把握することができるようになり、機能が大きく強化されました。

- ・アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付^{*12}）
- ・アクティブステアリングアシスト

「アクティブディスタンスアシスト・ディストロニック（自動再発進機能付^{*12}）」は、ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーにより、高速道路などの走行時に先行車を認識して、速度に応じて車間距離を調節します。減速が必要な場合、アクセルおよびブレーキを自動調整してスムーズに減速し、先行車が停止した場合は自車も停止します。また、新たに停止している先行車の検知も可能となりました。先行車および停止中の車両との距離が突然縮まった場合には、警告灯と警告音でドライバーに知らせます。

自動再発進機能^{*12}も備わり、高速道路での渋滞時に自動停止した際、30秒以内に先行車が発進した場合は、ドライバーがアクセルを踏まなくても自動で再発進します（一般道では3秒以内）。30秒以上停止していた場合は、アクセルを軽く踏む、またはステアリング上のスイッチを使用して再発進が可能です。

「アクティブステアリングアシスト」は、車線のカーブと先行車を、車線が不明瞭な道ではガードレールなどを認識し、車間を維持しながらステアリング操作をアシスト^{*14}します。

*12: GLB 200 d でナビゲーションパッケージ選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備されます。

*13: アクティブディスタンス・ディストロニック(自動再発進機能付)作動速度範囲:0~約210km/h
設定可能速度範囲:約20~210km/h

*14: 車線が不明瞭な場合のアクティブステアリングアシスト作動範囲:0~約130km/h

- ・渋滞時緊急ブレーキ機能

ステレオマルチパーパスカメラとレーダーセンサーで、先行車およびその左右の車線を監視します。突然渋滞の最後尾が現れた場合などに、前走車との衝突の危険を検知します。その左右などに回避スペースが無いと判断すると、即座に自動ブレーキが作動し、衝突回避または被害軽減を図ります。回避スペースがある場合は、ドライバーの回避操作を優先します。ただし、ドライバーが反応しない、または回避操作が遅れて衝突が回避できないと判断した場合には、即座に自動ブレーキが作動します。さらに、渋滞末尾で回避操作を行う空間的余裕がない危険な状況を検知して、通常よりはるかに早い段階でブレーキを自動で作動させる機能も搭載しました。

- ・アクティブレーンチェンジングアシスト

高速道路を走行時にアクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーがウインカーを点滅させると3秒後に車両周囲を監視しているセンサーが他の車両などとの衝突の危険が無いことを確認し、安全が確認された場合に自動で車線を変更します。また、ドライバーがウインカーを作動させたときに周囲の状況により車線変更ができない場合でも、10秒以内であれば、システムが車線変更できるかどうか確認し続け、自動で車線変更を行います。その際、作動状況をマルチファンクションディスプレイに表示します。

*15: GLB 200 d でナビゲーションパッケージ選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。

*16: 作動速度範囲:約80km/h~180km/h（一般道での利用不可）

・アクティブエマージェンシーストップアシスト

アクティブステアリングアシストが起動している際に、ドライバーが一定時間ステアリング操作を行わない場合、警告灯と警告音によってステアリングを握るよう促し、それでもドライバーがステアリング、アクセル/ブレーキ、タッチコントロールボタンの操作の反応が無い場合は、さらに警告音を鳴らしながら、緩やかに減速して停止します。また、車両停止後は自動的にパーキングブレーキがかかることで、後方からの衝突による二次災害を防止します。

*17: GLB 200 d でナビゲーションパッケージ選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。

・アクティブブレーキアシスト(歩行者/飛び出し検知機能付)

先行車、前を横切る車両や合流してくる車両、歩行者、路上の物体などとの衝突の危険性を感知すると、ディスプレイ表示や音でドライバーに警告します。必要な場合はシステムが衝突を回避するために強力な制動力を発揮できるようブレーキ圧を高めます。同時に、前席のシートベルトの巻き上げや助手席のシートポジション修正など、衝突時に乗員の最適な姿勢を可能な限り確保するPRE-SAFE[®]機能も作動します。ドライバーが反応しない場合、システムが衝突を避けられないと判断して、最大のブレーキ力で自動緊急ブレーキが作動します。衝突の回避もしくは被害軽減を効果的にサポートします。なお、交差点での車両飛び出しにも対応します。

*18: 作動速度範囲: 約 7~250km/h

*19: 歩行者検知機能 作動減速範囲: 約 7~70km/h

*20: 作動速度範囲は、気象条件や道路状況等により変動することがあります。

・緊急回避補助システム

車両前方にいる車道横断中の歩行者などとの衝突の危険を検知すると、システムが正確なステアリングトルクを計算して、ドライバーのステアリング操作をアシストします。また、回避後の車線復帰も同様にサポートします。

*21: 作動速度範囲: 約 20~70km/h

・トラフィックサインアシスト

一般道や高速道路を走行中、カメラが制限速度などの標識を読み取り、ディスプレイに表示し、制限速度を超えた際には警告音を出してドライバーに注意を促す機能も搭載します。

*22: GLB 200 d でナビゲーションパッケージ選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。

・アクティブレーンキーピングアシスト

フロントウインドウのステレオマルチパーパスカメラが車線を検出し、フロントホイールが走行車線を越えたと判断するとステアリングを断続的に微振動させてドライバーに警告します。ドライバーが反応しない場合は自動補正ブレーキによって車両を車線内に戻そうとします。なお、破線の車線走行時には隣車線の車両もしくは対向車と衝突の危険がある場合にのみ作動します。

*23: 作動速度範囲: 約 60km/h~200km/h

・アクティブブラインドスポットアシスト(降車時警告機能付)

リアバンパー左右のレーダーセンサーにより、車両の斜め後ろのミラーで見えない死角エリアに車両や自転車がいることを警告します。さらに、30km/h以上で走行時に側面衝突の危険がある時にはブレーキを自動制御して、危険回避をサポートします。追い越し車線に移ろうとして斜め後ろにいる車両に気づかなかった時など、ドライバーの不注意によるミスを予防し、安全な走行を支援します。また、エンジン停止から 3 分間、障害物が後方から近づくと、サイドミラー外側の警告灯が点灯し、さらにドアを開けようとする、警告音を

発することで、死角から近づく障害物と、開けたドアが接触することを防止する「降車時警告機能」を追加しました。

*24: 作動速度範囲: 約 12~200km/h

*25: 自動コース修正作動減速範囲: 約 30~200km/h

・PRE-SAFE®プラス(被害軽減ブレーキ付後方衝突警告システム)

リアバンパーに設置されたレーダーセンサーが後方のクルマを監視して車間距離と接近速度から衝突の危険があると判断すると、ハザードランプを素早く点滅させて後続車のドライバーに警告するとともに、インジケーターによりドライバーに警告します。自車が停止中で後続車が十分に減速しない場合は、後方からの衝突に備えてブレーキ圧を高めます。これにより玉突き衝突の回避など二次被害の軽減をサポートします。さらにシートベルトテンショナーも作動させ、衝撃の影響の低減を図ります。

・PRE-SAFE®サウンド

システムが不可避の衝突を検知すると、車両のスピーカーから鼓膜の振動を抑制する音を発生させ、鼓膜の振動を内耳に伝えるあぶみ骨筋の反射収縮反応を引き起こします。この収縮によって衝撃音の内耳への伝達を軽減します。

ドライバーを支援するその他のシステム

・ドライブアウエイアシスト

車両前方もしくは後方 1m 以内に障害物があり、その方向に進むギアを選択した場合、アクセルを強く踏んでも時速 2km/h 以上の速度が出ず、警告音によりドライバーに誤操作の可能性があることを警告します。

*26: 停止した際に、一旦 P にシフトした後、D か R に入れる必要があります。通常走行中に停止し、P にシフトせずに再発進をする場合は、本機能は作動しません。

*27: 時速 2km/h で走行し、警告にも関わらずドライバーがブレーキを踏まない場合は障害物に衝突します。

*28: 停止した際に障害物から 1m 以上離れている場合、本機能は作動しません。

・360° カメラシステム

フロントグリル、左右のドアミラー、リアライセンスプレート上方に4つの広角・高解像度カメラを備え、合成処理された周囲の状況をモニターに表示します。自車を真上から見ているような「トップビュー」など、車両周辺の状況が直観的に把握できます。

・マルチビーム LED ヘッドライト*29

マルチビーム LED ヘッドライトは、ヘッドライトをその時の走行状況にきわめて高速かつ精密に電子制御することができます。左右それぞれに、個別制御される LED 18 個を搭載していますが、この LED の昼白色の光は目に優しい上、ドライバーの集中力を高める効果をもたらします。前方の路面を正確に、そして明るく照らし出します。なお、標準装備は LED ハイパフォーマンスヘッドライトとなります。

マルチビーム LED ヘッドライトの主な機能

- 郊外道路や高速道路では可変型ロービーム
(ハイウェイモードでは射程を約 50m 拡大)。
- 右左折時にはコーナリングライトが自動点灯
点灯条件は、速度 40km/h 以下でウインカーを操作した場合と 70km/h 以下で急カーブに進入した場合。後退時は両側のコーナリングライトが点灯し、外輪差でフロントが外側に振れる範囲を照らします。

- シティライト

密集地域を低速走行する場合、配光範囲を拡大します。

- アダプティブハイビームアシスト・プラス

前方を遠くまで明るく照らします。対向車や前走車に光を当てないように、個々のハイビームモジュールを部分的に遮光する機能を備えることから、常時点灯が可能。街灯のない等暗い道路を 30km/h 以上で走行中に機能します。

*29: GLB 200 d で AMG ライン選択時。GLB 250 4MATIC スポーツには標準装備。